

園庭解放のお知らせ

〈日時〉 毎週木曜日
9:30~11:30



安井保育園では、地域に住んでいる未就園児のお子様安心して遊べる場として園庭を開放しています。

保護者の方にも子育ての楽しさを感じていただいたり、心配事や悩みを話し合える機会になればいいなと思っています。

相談や子育てについての質問などあれば、お気軽に声をかけてください。

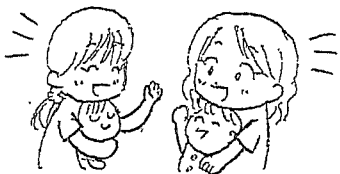


一時預かりの登録更新について

24年度の一時預かりの登録更新を2月から受け付けます

更新の書類は安井保育園にあります。(印鑑をご持参くださればその場ですくにごできます。)

健康保険証・乳児医療証の変更がある方はコピーを、持ってきてください。



一時預かり事業

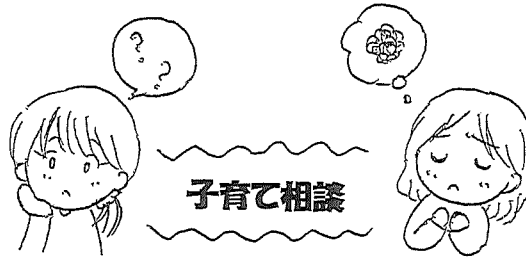
安井保育園では、子育てを応援するための地域支援事業を行っています。就学前までのお子様をお預かりいたします。

急な病気や冠婚葬祭・学校の行事
仕事・リフレッシュなどにご利用下さい。

事前に面談が必要です。まずは園にご連絡ください。資料をお渡ししています。

利用者が重なっている日など、
希望日にご利用いただけないことがあります。

ホームページより資料をダウンロードできます。
是非ご利用下さい。



子育て相談

一時預かり・子育て講座・園庭開放などをご利用の際でもけっこうです。

子育てについての悩みや相談があれば
気軽に声をかけてください。

子育て講座も企画しています。
日程が決まり次第お知らせしていきます。

2012年

子育て新聞

～てをつなごう～



安井保育園

兵庫県西宮市安井町4-15

TEL 0798-34-6677

FAX 0798-34-0337

おしっこが一人でできるまで

「いつ頃から始めたらいいのでしょうか?」「どのように?」と、よく質問されます。今回はトイレトレーニングについて考えてみましょう。赤ちゃんはまだ脳の発達が幼いために、おしっこが膀胱にたまと無意識のうちに反射的に出てしまいます。この無意識におむつにおしっこをしていた状態から、おしっこをしたいと尿意を感じて自分の意志でオマルやトイレできるように教えていく過程をトイレトレーニングといいます。では、どのようなステップですすめていけばよいのでしょうか。

ステップ1 トレーニングに入る準備段階

おしっこの間隔はどのくらいか

自分でじょうずに歩けるようになって言葉もいくつか話せるようになると脳がある程度発達して尿意を感じることができるようになる準備に入ったという事になります。子どもをよく観察して、おしっこの間隔が2時間近くあくときをみつけましょう。

ステップ2 オマルやトイレに誘ってみよう。

はじめは偶然におしっこ

おしっこの間隔が2時間ぐらいたった時をねらってオマルやトイレに誘ってみましょう。タイミングがあえばおしっこをしてくれます。初めのうちは偶然なのですが何回か続くと、そのうちにいつも誘えばおしっこをしてくれるようになります。

チイでたねと声がけしよう

排尿三感覚を大切に

偶然オマルでおしっこをした時にはそのおしっこを見せながら必ずチイ出たねと喜びの声をかけをしてあげる事が大切です。子どもはおしっこがジャーと出た「チイでる感覚(放尿感)」、オマルにたまったおしっこを目で見確認する「チイ見る感覚(視覚的認知)」、そして大人のチイ出たねの声を耳にする「チイ聞く感覚(聴覚的認知)」を体験できこの三つの感覚を同時に体験した時、初めて子どもはこれまで無意識のうちにおむつに出てしまったのがおしっこなんだと体感を通して理解する事ができるのです。

ステップ3 昼間のおむつをはずしてみよう

母親のイライラ度しだい

一般的には成功率5割になってからといえますが、実際には大人のイライラ度と相談する事が第一です。子どもを叱ってしまいそうならば成功率8割くらいになってからした方が子どもも大人も苦勞が少ないでしょう。

ステップ4 おしっこと言えるには

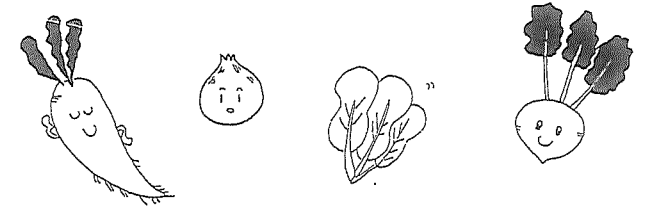
すぐに誘わずちょっと待とう

誘えばできるが自分からは言ってくれない時にはタイミングをわざとずらしてみます。膀胱にいつも以上に尿を貯めさせて尿意を感じさせてから誘ってみましょう。叱らずあせらずに見守る事が大切です。(参考文献 ちいさいなかま)

今月のおすすめメニュー

あったかクリーム煮 (材料4人分)

鶏肉120g・ベーコン4枚・里芋10個・さつまいも1本・白菜1/4個・かぶ1/2個・にんじん1/2本・玉ねぎ1個・バター大1・小麦粉大1.5・牛乳200cc・生クリーム大1



季節の野菜を使ったシチューです。作り方は簡単。ホワイトソースを作るのが大変な方は市販のシチューの素を使って下さい。旬野菜の小松菜ほうれん草など何でも入れて!かぶの葉の部分もいれましょう。たっぷりの野菜が入っているのに子どもたちはペロリと食べてくれます。里芋もこれだと抵抗ないようです。体の温まる一品です。

